

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 7 日現在

機関番号：15301

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26570020

研究課題名(和文)性同一性障害の子どもへ対応する教員への支援法の確立

研究課題名(英文) Supports to teachers who take care of children with transgender

研究代表者

中塚 幹也 (Nakatsuka, Mikiya)

岡山大学・保健学研究科・教授

研究者番号：40273990

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：教員を対象として、性同一性障害に関する授業を行うことへの意識、必要な教材などについてのインタビュー調査、質問紙調査を実施した。この調査結果は、公開シンポジウム、教育関連、小児科医、精神神経科医、産婦人科医などの学会にて発表した。全国の教員に対するアンケート調査結果や性同一性障害に関する専門家や性同一性障害当事者からの助言なども参考とし、教員が効果的に生徒に性同一性障害に関する情報を提供するための資料、また、より深く議論ができるようなワークを作り、テキスト、DVDを制作した。

研究成果の概要(英文)：I carried out the interview and questionnaire survey on the attitudes of teachers to teaching transgender, gender identity disorder and the required teaching materials. These data were presented in public symposium, and, in meeting of the societies such as teachers, pediatricians, psychologists, or gynecologists. We took the advice from experts supporting people with transgender and people with transgender identity disorders person themselves. We made teaching materials including DVD to provide the information about transgender and made the work for group discussion.

研究分野：生殖医学 ジェンダー

キーワード：性同一性障害 学校 子ども 支援 性的マイノリティ

1. 研究開始当初の背景

医療施設を受診する性同一性障害当事者から推計した最近の研究では、2,759人に1人が性同一性障害であるとされ、誰にも相談することができない性同一性障害の子どもはさらに多いと推測される。しかし、子どもは性同一性障害という言葉や概念にたどり着けず、「自身が何者かわからない」、性同一性障害を疑っても「絶対に他人に知られたくない」と感じて告白できないことが多い。

1998年に開設された岡山大学病院ジェンダークリニックにおける性同一性障害の受診者1,167名への調査では、約8割が小学生までに性別違和感を自覚し、受診時には約6割が自殺念慮を持ち、約3割が自傷・自殺未遂の既往、約3割が不登校の経験を持っていた。これらの背景に、学校における性同一性障害の子どもへの対応不足がある。

二次性徴による望まない身体への変化は自殺念慮や不登校などにも影響し、外見上、その後の生活の質(Quality of life: QOL)を低下させるため、2012年、性同一性障害の診療ガイドラインで思春期の二次性徴抑制療法が認められた。このため、望まない性への身体の変化を止め、時間をかけて診断した上で、望む性の身体に変化させる性ホルモン療法を行うことが可能になった。しかし、子どもが告白しなければ、ひげが生え、声が低くなってしまい、取り返しはつかない。また、月経のたびに理由もわからないまま自殺未遂を繰り返すこともある。

性同一性障害の子どもは「絶対に知られない」としているため、大人が見つかることは困難なことも多い。このため、子ども本人が言いだしやすい環境を整える必要がある。

本研究では、全国の人権教育担当教員や養護教諭などの教員の性同一性障害に関する知識や対応の実態を調査しその不足がないか検討する。また、教員を支援するため、モデル教材やモデル授業を作成、さらに、これらにより、子どもが告白しやすい学校環境を整える方策を考える。

2. 研究の目的

学校において「性同一性障害」を伝える立場である人権教育担当教員や養護教諭など教員における性同一性障害に関する知識、性同一性障害の子どもを認識した頻度、その対応の実態を明らかにする。教員への支援のためのモデル教材・授業を作成する。

3. 研究の方法

2014～2016年、講演会に参加した教員等を対象として、無記名の自己記入式質問紙調査を施行した。

4. 研究成果

小・中学校の教員への調査から、「学校」における「性同一性障害」について授業の実態とそれを行うことへの意識を見てみると、

一般教員も養護教諭も、学校で子どもに対して「性同一性障害についての授業をしたことがない」との回答が八～九割であった。しかし、「性同一性障害についての授業をしたい」との回答は六～七割であり、特に、一般教員の女性では、他の群と比較して高率であった。「性同一性障害についての授業をすることができる」との回答は約五割であり、養護教諭は一般教員の女性と比較して低率であった。

授業をしていない理由の一つとしては、自身では「性同一性障害についての授業をすることができない」と考えている先生が多いことが推測された。特に、養護教諭は一般教員と比較して授業を担当する機会も少なく、また、授業自体に慣れていないとも考えられ、「授業をすることができない」との回答が高率であった。ジェンダークリニックの医療スタッフなどの性同一性障害に関する専門家が、このような教員を支援することも必要である。

2016年に行った1006名の教員への調査では、学校教育の中で、子どもに教えておくべき言葉として、「性同一性障害」を挙げた教員は99.1%と高率であった。また、「性同一性障害やトランスジェンダー」を扱う授業科目としては、「人権/道徳」78.1%、「性教育」69.3%、「保健体育」60.4%などが高率であった。

実際に授業をしている教員の意見を見てみると、人権/道徳では「人権の立場からみんなが平等に人として生きる権利を持っていることを教えたい」、性教育では「一次性徴と二次性徴に関連付けて指導したい」、生物では「生殖・遺伝の分野で取り上げたい」、家庭科では「家族・家庭生活の観点で触れたい」、社会科では「多様性のある社会の大切さについて触れたい」、音楽では「変声についての学習の中で扱いたい」、英語では「性的マイノリティに関する内容の読み物、性的マイノリティの人が書いた英文を教材として扱いたい」などが見られた。

現在は、人権教育の中で教えられることの多い「性同一性障害」「性的マイノリティ」であるが、人権の問題のみを強調するのではなく、いろいろなチャンネルで子どもに情報を届けることが重要である。

この調査結果は、公開シンポジウム、教育関連、小児科医、精神神経科医、産婦人科医などの学会にて発表した。

性別違和感を持つ子ども：性同一性障害の生徒に向き合うダイジェスト版(第2版)を作成し、全国の教員へ配布した。全国の教員に対するアンケート調査結果や性同一性障害に関する専門家や性同一性障害当事者からの助言なども参考とし、教員が効果的に生徒に性同一性障害に関する情報を提供するための資料、また、より深く議論ができるようなワークを作り、テキスト、DVDを制作した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 54 件)

1. 中塚幹也：性同一性障害当事者がホルモン治療を継続できないことの医学的問題点. 季刊刑事弁護 89：71-76, 2017. 査読なし.
2. 久保光太郎, 中塚幹也：性同一性障害とテストステロン, 最新女性医療 4(1)：29-33, 2017. 査読なし.
3. 大西沙紀, 北川温子, 児玉舞雪, 上田あゆか, 日笠麻友子, 大林恵, 中塚幹也：大学生における「性同一性障害当事者との関係性」と「理解・受容」への意識. 岡山県母性衛生 33：24-25, 2017
4. 北川温子, 大西沙紀, 上田あゆか, 大林恵, 児玉舞雪, 日笠麻友子, 中塚幹也：教員における「性的マイノリティ」を授業で扱うことに対する意識. 岡山県母性衛生 33：26-27, 2017. 査読なし.
5. 中塚幹也：＜特集 I＞第 35 回日本思春期学会総会学術集会 教育講演 6 思春期における性同一性障害診療の課題：学校と医療施設との連携. 思春期学 35(1)：31-36, 2017. 査読なし.
6. 中塚幹也：性同一性障害の子どもへの対応. 健 44(10)：38-41, 2016. 査読なし.
7. 中塚幹也：性同一性障害の現状と治療「性同一性障害診療を取り巻く課題と今後の展望」. 医学のあゆみ 256(4)：312-316, 2016. 査読なし.
8. 中塚幹也：第 31 回小児保健セミナー思春期と性の問題をめぐって「性同一性障害と思春期」. 小児保健研究 75(2)：154-160, 2016. 査読なし.
9. 中塚幹也：特集：小児科医が担う思春期医療. 心理的問題「性同一性障害」. 小児内科 48(3)：376-379, 2016
10. 中塚幹也：特集：小児科外来における思春期診療の実際「性同一性障害—子どもの頃の当事者と診療の実際—」. 外来小児科 19(1)：70-75, 2016. 査読なし.
11. 中塚幹也：特集：インクルーシブ教育「子どもの LGBT の問題からインクルーシブ教育を考える」. 授業づくりネットワーク「インクルーシブ教育」329：52-55, 2016. 査読なし.
12. 中塚幹也：＜教育講演 4＞性同一性障害の診療と支援の実際. 日本女性医学学会雑誌 23(2)：195-198, 2016. 査読なし.
13. 中塚幹也：女性の健康にまつわる新語辞典 Current Words 「LGBT」. White 4：84-85, 2016. 査読なし.
14. 中塚幹也：今月の臨床：若年女性の外来診療に役立つ基礎知識. 性同一性障害. 臨床婦人科産科 70(6)：475-480, 2016. 査読なし.
15. 中塚幹也：いま, 学校で LGBT を教えることの意味. 体育科教育 64(8)：16-19, 2016. 査読なし.
16. 中塚幹也：特集—LGBT を正しく理解し, 適切に対応するために性的マイノリティのリプロダクティブ・ヘルス/ライツ. 精神科治療学 31(8)：1073-1076, 2016. 査読なし.
17. 中塚幹也：特集 I：性別違和/性同一性障害の基礎と臨床性別違和感を持つ思春期当事者への支援. 精神科 29(2)：88-93, 2016
18. 中塚幹也：特集：小児の性同一性障害・性別違和 1. 性同一性障害：総論. 小児科 57(11)：1299-1304, 2016. 査読なし.
19. 中塚幹也：知っておきたいこと ア・ラ・カルト性同一性障害／性別違和. Medical Practice 33(10)：1648-1650, 2016. 査読なし.
20. 中塚幹也：診療研究 性同一性障害の診療(上) 性同一性障害の診断と診療の流れ. 月刊保団連 1201：51-54, 2016. 査読なし.
21. 中塚幹也：診療研究性同一性障害の診療(中) 性同一性障害の治療の実際. 月刊保団連 1202：41-44, 2016. 査読なし.
22. 中塚幹也：診療研究 性同一性障害の診療(下) 思春期の性同一性障害当事者の治療. 月刊保団連 1204：50-53, 2016. 査読なし.
23. 瀬尾奏衣, 大利遥, 広保沙紀, 山本友里恵, 石畑沙樹, 早澤知佳, 中塚幹也：教員における「性同一性障害当事者の支援に関する文部科学省の動向」の認知度. 岡山県母性衛生 (32)：43-44, 2016. 査読なし.
24. 中塚幹也：多様な性のあり方と LGBT 当事者の声. 平成 28 年度家族計画研究集会(健やか親子 21 全国大会[母子保健家族計画全国大会]併設集会) LGBT への理解を深める. 家族と健康 752：4-5, 2016. 査読なし.
25. 中塚幹也：思春期の性同一性障害に理解を. Medical Tribune 49(41)：19, 2016. 査読なし.
26. 藤田志保, 松本麻衣, 久保光太郎, 長谷川徹, 新井富士美, 富岡美佳, 中塚幹也：小学生の頃の性同一性障害当事者のカミングアウト. GID(性同一性障害)学会雑誌 8:33-39, 2015. 査読あり.
27. 中塚幹也：第 3 4 回「日本性科学学会学術集会」会長講演記録生殖と性：社会を知り社会に発信する. 日本性科学学会雑誌 33(1)：3-14, 2015. 査読なし.
28. 中塚幹也：特集：すべての子どもが安心して学校生活を送れるために「性的マイノリティ」の子どもへの対応「学校における「性的マイノリティ」への支援—性同一性障害を中心に—」. 月刊教職研修 516：30-31, 2015. 査読なし.
29. 中塚幹也：学校の中の性同一性障害の子ども. 全国養護教諭連絡協議会会報 71：5, 2015. 査読なし.
30. 中塚幹也：特集 2：性の多様性と学校での対応「性的マイノリティと学校教育」. 教育と医学 63(10)：54-64, 2015. 査読なし.
31. 松本麻衣, 岩崎美江, 富谷友美, 大森菜美, 富岡美佳, 新井富士美, 中塚幹也：小学生の頃の Male to Female(MTF)当事者の「封じ込める」体験とカミングアウトの困難性. GID(性同一性障害)学会雑誌 8(1)：41-49, 2015. 査読あり.
32. 林田桃子, 肥後沙也子, 宮崎寛子, 薬師寺仁美, 横田泉, 吉海歩美, 吉村沙耶香, 嶋田雅子, 花口裕美, 中塚幹也：教員における制服, 髪型への意識—性同一性障害の子どもへの支援に向けて—. GID(性同一性障害)学会雑誌 8(1)：51-60, 2015. 査読あり.
33. 中塚幹也：心の健康ニュース＜かけがえない生と性シリーズ 5＞LGBTI の基礎 (5) データに見る性同一性障害①. 少年新聞 412：5-6, 2015. 査読なし.
34. 中塚幹也：心の健康ニュース付録＜かけがえない生と性＞データに見る性同一性障害①少年新聞 412：付録, 2015. 査読なし.

35. 中塚幹也：心の健康ニュース<かけがえのない生と性シリーズ6>LGBTIの基礎(6)データに見る性同一性障害②. 少年新聞 414:5-6, 2015. 査読なし.

36. 中塚幹也：心の健康ニュース付録<かけがえのない生と性>データに見る性同一性障害②. 少年新聞 414:付録, 2015. 査読なし.

37. 中塚幹也：特集：子供の安全教室-防犯編-「特別インタビュー：子どもの性同一性障害を理解する」. 灯台 655:62-64, 2015. 査読なし.

38. 中塚幹也：第2部思春期と性の問題をめぐって「性同一性障害と思春期」. 第31回小児保健セミナーテキストPP.28-39, 2015. 査読なし.

39. 中塚幹也：性別違和を持つ子ども. 公益社団法人日本小児科医会第15回思春期の臨床講習会講演集PP.3-11, 2015. 査読なし.

40. 久保光太郎, 末石佳代, 長谷川徹, 富岡美佳, 新井富士美, 中塚幹也：性同一性障害の生徒がスポーツ競技大会へ参加することへの意識. GID(性同一性障害)学会雑誌7:7-17, 2014. 査読あり.

41. 中塚幹也：性同一性障害に対するホルモン療法-内分泌療法-. 形成外科 57:849-855, 2014. 査読なし.

42. 中塚幹也：養護教諭のための教育実践に役立つQ&A集VQ「性同一性障害」を子どもたちにわかりやすく教えるには? ANSWER. 健康教室 65(9):78-81, 2014. 査読なし.

43. 中塚幹也：教育時事ワイド解説 43 性同一性障害と学校における対応. 教職研修(507):74-77, 2014. 査読なし.

44. 中塚幹也：<性同一性障害の概念と治療第3回>性同一性障害の子どもと二次性徴抑制療法. 都薬雑誌 36(4):4-8, 2014. 査読なし.

45. 中塚幹也：<性同一性障害の概念と治療最終回>病院や薬局での性同一性障害当事者への対応. 都薬雑誌 36(5):4-7, 2014. 査読なし.

46. 中塚幹也：心の健康ニュース<かけがえのない生と性シリーズ1>LGBTIの基礎(1)性的指向. 少年新聞 404:5-6, 2014. 査読なし.

47. 中塚幹也：<かけがえのない生と性>だれを好きになるのかな?. 少年新聞(404):付録, 2014. 査読なし.

48. 中塚幹也：心の健康ニュース<かけがえのない生と性シリーズ2>LGBTIの基礎(2)性自認. 少年新聞 406:5,6,4, 2014. 査読なし.

49. 中塚幹也：<かけがえのない生と性>性別はどうやって決まるの?. 少年新聞(406):付録, 2014. 査読なし.

50. 中塚幹也：心の健康ニュース<かけがえのない生と性シリーズ3>LGBTIの基礎(3)よくある質問から1. 少年新聞 408:5-6, 2014. 査読なし.

51. 中塚幹也：<かけがえのない生と性>性についてのQ&A①. 少年新聞 408:付録, 2014. 査読なし.

52. 中塚幹也：心の健康ニュース<かけがえのない生と性シリーズ4>LGBTIの基礎(4)よくある質問から2. 少年新聞 410:5-6, 2014.

査読なし.

53. 中塚幹也：<かけがえのない生と性>性についてのQ&A②. 少年新聞 410:付録, 2014. 査読なし.

54. 中塚幹也：GID(性同一性障害)学会からの提言(2014年). GID(性同一性障害)学会雑誌 7(1):163-164, 2014. 査読あり.

[学会発表](計28件)

1. 中塚幹也：[理事長講演]性同一性障害を取り巻く課題と今後の展望. GID(性同一性障害)学会 第19回研究大会・総会. 2017年3月18-19日. 札幌医科大学

2. 中塚幹也：GID(性同一性障害)とは?性的マイノリティの基礎知識. GID(性同一性障害)学会 第19回研究大会・総会. 2017年3月18-19日. 札幌医科大学

3. 林田桃子, 榎野千明, 藤田志保, 新井富士美, 中塚幹也：教職員における性別違和感を持つ児童生徒に対する意識調査：学校内での啓発方法. GID(性同一性障害)学会. 2017年3月18-19日. 札幌医科大学

4. 榎野千明, 大西沙紀, 藤田志保, 新井富士美, 中塚幹也：大学生における「性同一性障害当事者との関係性の近さ」と「理解・支援への意識」. GID(性同一性障害)学会. 2017年3月18-19日. 札幌医科大学

5. 中塚幹也：教育講演2「性同一性障害と子宮移植」. 第5回「日本子宮移植研究会」学術集会. 平成28年11月27日. 新宿住友スカイルーム.

6. 大西沙紀, 北川温子, 児玉舞雪, 上田あゆか, 日笠麻友子, 大林恵, 中塚幹也：大学生における性同一性障害当事者との関係性と理解・受容への意識. 第33回岡山県母性衛生学会. 平成28年10月29日. 岡山大学

7. 北川温子, 大西沙紀, 上田あゆか, 大林恵, 児玉舞雪, 日笠麻友子, 中塚幹也：教員における「性的マイノリティに関する授業」に対する意識. 第33回岡山県母性衛生学会. 平成28年10月29日. 岡山大学

8. 瀬尾奏衣, 広保沙紀, 山本友里恵, 石畑早樹, 中塚幹也：教員における「性同一性障害当事者の支援に関する文部科学省の動向」の認知度. 第57回日本母性衛生学会. 平成28年10月14-15日. 品川プリンスホテル.

9. 林田桃子, 肥後沙也子, 宮本志織, 薬師地仁美, 横田泉, 泉田萌杏, 嶋田雅子, 林奈央, 片岡久美恵, 中塚幹也：教職員における性別違和感を持つ児童生徒に対する意識調査：学校内での啓発方法. 第57回日本母性衛生学会総会・学術集会. 平成28年10月14日-15日. 品川プリンスホテル.

10. 藤田志保, 松本麻衣*, 矢野肇子, 安藤まり, 榎野千明, 松岡敬典, 長谷川徹, 久保光太郎, 酒本あい, 小谷早葉子, 鎌田泰彦, 新井富士美, 中塚幹也：小学生の頃の性同一性障害当事者の「封じ込める」体験と学校や教員への思い. 第36回日本性科学学会. 平成28年9月17-18日. 長野赤十字病院.

11. 矢野肇子, 松本麻衣*, 藤田志保, 安藤まり, 榎野千明, 松岡敬典, 長谷川徹, 久保光太郎, 酒本あい, 小谷早葉子, 鎌田泰彦, 新井富士美, 中塚幹也：同性パートナーシップ制度および同性婚に対する大学生の意識. 第36回日本性科学学会. 平成28年9月17日-18

日長野赤十字病院。

12. 中塚幹也：思春期における性同一性障害診療の課題：学校と医療施設との連携。第35回日本思春期学会教育講演。平成28年8月27-28日。浅草ビューホテル。
13. 中塚幹也：ワークショップ5 性同一性障害/性別違和に対するガイドラインに基づく診療～複数診療科の視点から～「性同一性障害/性別違和，MTF 当事者へのホルモン療法，子どもへの対応：学校と医療」。第112回日本精神神経学会学術総会。平成28年6月2-4日。東京ベイ幕張。
14. 中塚幹也：シンポジウム21「性同一性障害」性同一性障害の診療と支援。第89回日本内分泌学会学術総会。平成28年4月21-23日。国立京都国際会館。
15. 藤田志保，松本麻衣，松岡敬典，周宇，新井富士美，中塚幹也：小学生の頃のFTM 当事者の「封じ込める」体験とカミングアウトの困難性。GID（性同一性障害）学会。平成28年3月29-30日。日本教育会館。
16. 松岡敬典，藤田志保，周宇，新井富士美，中塚幹也：小児科医における性同一性障害の子どもへの対応の実態と意識。GID（性同一性障害）学会。平成28年3月29-30日。日本教育会館。
17. 中塚幹也：シンポジウム2：青年期・成人期のGIDに対する理解と支援 ホルモン療法の実践と課題。GID（性同一性障害）学会。平成28年3月29-30日。日本教育会館。
18. 瀬尾奏衣 1)，大川遥 1)，早津知佳 1)，石畑沙樹 1)，11-J 本友里恵 1)，広保沙紀 1)，中塚幹也：教員における「文部科学省の性同一性障害に関する通知や調査データ」の認知度。第32回岡山県母性衛生学会総会並びに学術集会。平成27年10月24日。岡山大学医学部保健学科棟3階301大講義室。
19. 林田桃子，肥後沙也子，薬師地仁美，横田泉，嶋田雅子，2,3,4 中塚幹也：性同一性障害の子どもへの支援に向けて：教員における制服，髪型への意識。第56回日本母性衛生学会総会・学術集会。平成27年10月16-17日。マリオス（盛岡市民文化ホール），アイーナ（いわて県民交流センター）。
20. 中塚幹也：シンポジウム14 性同一性障害/性別違和の診断と治療～複数診療科によるチーム医療とガイドライン～「性別違和感を持つ思春期の当事者への支援」。第111回精神神経学会学術総会。平成27年6月5日。リーガロイヤルホテル大阪2F 桂。
21. 林田桃子，肥後沙也子，宮崎寛子，薬師地仁美，横田泉，吉海歩美，吉村沙耶香，嶋田雅子，花口裕美，中塚幹也：教員における制服，髪型への意識—性同一性障害の子どもへの支援に向けて—。GID(性同一性障害)学会第17回研究大会。平成27年3月20-21日。大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。
22. 犬飼麻衣，岩崎美江，富谷友美，大森菜美，新井富士美，富岡美佳，中塚幹也：小学生の頃のMTF 当事者の「封じ込める」体験とカミングアウトの困難性。GID(性同一性障害)学会第17回研究大会。平成27年3月20-21日。大阪府立大学中百舌鳥キャンパス。
23. 乃美志保，犬飼麻衣，久保光太郎，長谷川徹，新井富士美，富岡美佳，中塚幹也：小学生の頃の性同一性障害当事者のカミング

アウト。GID(性同一性障害)学会第17回研究大会。平成27年3月20-21日。大阪府立大学。

24. 中塚幹也：GID(性同一性障害)と生殖医療。第59回日本生殖医学会学術講演会。平成26年12月4-5日。京王プラザホテル。
25. 久保光太郎，松井佳代*，新井富士美，長谷川徹，酒本あい，小谷早葉子，松田美和，鎌田泰彦，平松祐司，中塚幹也：学校における性同一性障害の子どもへの支援に対する教員の意識。第15回性科学セミナー・第34回日本性科学学会学術集会。平成26年10月11-12日。岡山大学。
26. 犬飼麻衣，岩崎美江，富谷友美，大森菜末，新井富士美，富岡美佳，中塚幹也：小学生の頃の性同一性障害(MTF) 当事者の「封じ込める体験」とカミングアウトの困難性。第34回日本性科学学会学術集会。平成26年10月12日。岡山大学。
27. 松井佳代，田中弘美，中田果菜子，中塚幹也：性同一性障害の生徒への二次性徴抑制療法に対する教員の意識。第55回日本母性衛生学会総会・学術集会。平成26年9月13-14日。幕張メッセ国際会議場。
28. 大廣香織，大村真世，川田有佳里，角田佳志恵，富田真末，藤村奈保子，片岡久美恵，中塚幹也：「性同一性障害」の認知度に関する調査。第55回日本母性衛生学会総会・学術集会。平成26年9月13-14日。幕張メッセ国際会議場。

〔図書等〕(計29件)

1. 中塚幹也：講演「性同一性障害：学校での対応と医療との連携」平成28年度健康教育に関する研究報告 歩み 51号，静岡県高等学校養護教育研究会編，PP.9-19，静岡県高等学校養護教育研究会，静岡県，2017
2. 中塚幹也：第5章性の多様性「1 性同一性障害」，助産師基礎教育テキスト 2017年版，吉沢豊予子編，PP.218-229，日本看護協会出版会，東京都，2017
3. 中塚幹也：第5章性の多様性「2 性分化疾患」，助産師基礎教育テキスト 2017年版，吉沢豊予子編，PP.230-239，日本看護協会出版会，東京都，2017
4. 中塚幹也：第5章性の多様性「3 同性愛」，助産師基礎教育テキスト 2017年版，吉沢豊予子編，PP.240-242，日本看護協会出版会，東京都，2017
5. 中塚幹也：報告：さんかくウィーク 2016 テーマ『さんかく社会 笑顔あつめて 花ひらく』オープニングイベント。Duo デュオ（岡山市男女共同参画情報誌），42：6，2017
6. 中塚幹也：性自認 (Gender Identity)。みんなが自分らしく 性の多様性を考える 性的指向・性自認・性別表現。監修：日高庸晴，協力者：中塚幹也，公益財団法人人権教育啓発推進センター，東京都，P12，2017
7. 中塚幹也：性同一性障害 (Gender Identity Disorder:GID) みんなが自分らしく 性の多様性を考える 性的指向・性自認・性別表現。監修：日高庸晴，協力者：中塚幹也，公益財団法人人権教育啓発推進センター，東京都，PP.14-15，2017
8. 中塚幹也：性同一性障害当事者の自殺未遂率の高さ。みんなが自分らしく 性の多様性

を考える 性的指向・性自認・性別表現. 監修：日高庸晴, 協力者：中塚幹也, 人権教育啓発推進センター, 東京都, P26, 2017

9. 中塚幹也監修：動画教材DVD. 先生に知っておいてほしい LGBT セクシャルマイノリティ SOGI, 中塚幹也監修：制作・編集株式会社RSKプロビジョン, 岡山市, 2017

10. 中塚幹也監修：動画教材の解説. 先生に知っておいてほしい LGBT セクシャルマイノリティ SOGI, 中塚幹也監修：中塚研究室, 岡山市, PP. 1-31, 2017

11. 中塚幹也：心の健康ニュース縮刷「かけがえのない生と性シリーズ」だれを好きになるのかな？ P243, LGBT の基礎 (1) 性的指向 P244, 性別はどうやって決まるの？ P246 性指向, 性自認などに関連して性についてのQ&A① P247, LGBT の基礎 (2) 性自認 P248, P260, LGBT の基礎 (3) よくある質問から1 P252, 性指向, 性自認などに関連して性についてのQ&A② P250, LGBT の基礎 (4) よくある質問から2 P255, データに見る性同一性障害① P251, LGBT の基礎 (5) データに見る性同一性障害① P257, データに見る性同一性障害② P254, LGBT の基礎 (6) データに見る性同一性障害② P258, 体と心保健総合大百科 中・高校編 2016年, 株式会社少年写真新聞社編, PP. 243-258 少年写真新聞社, 東京都, 2016

12. 中塚幹也：6章【押さえておきたい！新たな学校課題】性同一性障害の子どもにどんな対応が求められているの？教育の最新事情がよくわかる本これだけは知っておきたい教員としての最新知識 3, 教育開発研究所編, PP. 254-256, 教育開発研究所, 東京都, 2016

13. 中塚幹也：★LGBT 啓発シンポジウム『虹の橋をかけよう』<第一部>セミナー「LGBTとは？今私たちにできること」, さんかくウィーク 2016 報告集, さんかくウィーク 2016 実行委員会・岡山市編, PP. 11-13, 岡山県, 岡山市, 2016

14. 中塚幹也：第5章性の多様性「1性同一性障害」, 助産師基礎教育テキスト 2016年版, 吉沢豊予子編, PP. 218-229, 日本看護協会出版会, 東京都, 2016

15. 中塚幹也：第5章性の多様性「2性分化疾患」, 助産師基礎教育テキスト 2016年版, 吉沢豊予子編, PP. 230-239, 日本看護協会出版会, 東京都, 2016

16. 中塚幹也：第5章性の多様性「3同性愛」, 助産師基礎教育テキスト 2016年版, 吉沢豊予子編, PP. 240-242, 日本看護協会出版会, 東京都, 2016

17. 中塚幹也監修：「性的マイノリティ」に対する正しい理解のために 平成28年3月兵庫県教育委員会作成 校内研修資料, 2016

18. 中塚幹也協力：文部科学省 平成28年4月 性同一性障害や性的指向・性自認に係る, 児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について (教職員向け), 2016

19. 中塚幹也監修：性同一性障害 (GID) ってなあに？～知っておこう GID・LGBT～, PP. 1-12, 社会保険出版社, 2016

20. 中塚幹也監修：多様な性を知ろう, プラウド岡山 岡山市人権推進課, 岡山市女性が輝くまちづくり推進課, 2016

21. 中塚幹也監修：先生に知ってもらいたい多様な性 平成28年度岡山市市民協働推進モデル事業, プラウド岡山 岡山市教育委員会事務局指導課, 2016

22. 中塚幹也：性別違和感を持つ子どもー性同一性障害, LGBTとは？ー, 子どものからだと心白書, 子どものからだと心・連絡会議編, PP. 20-22, ブックハウス・エイチディ, 東京都, 2015

23. 中塚幹也：医師に聞く：性同一性障害の治療にまつわるQ&A, LGBTQを知っていますか？“みんなと違う”は“ヘン”じゃない, 監著者日高庸晴, PP. 78-82, 株式会社少年写真新聞社, 東京都, 2015

24. 中塚幹也：医師に聞く：養護教諭が知っておきたい性同一性障害の基礎知識, LGBTQを知っていますか？“みんなと違う”は“ヘン”じゃない, 監著者日高庸晴, PP. 117-129, 株式会社少年写真新聞社, 東京都, 2015

25. 中塚幹也：分科会6セクシュアル・マイノリティ「ありのままを生きられる虹色社会に～人の数だけ性がある～」, 日本女性会議 2015 倉敷報告書, 日本女性会議 2015 倉敷実行委員会・倉敷市編, PP. 106-123, 日本女性会議 2015 倉敷実行委員会・倉敷市, 倉敷市, 2015

26. 中塚幹也：岡山市の職員が知っておきたい性的マイノリティ (LGBT) の基礎知識, pp. 1-21, 岡山大学大学院保健学研究科, 岡山市, 2015

27. 中塚幹也：第5章性の多様性 1性同一性障害 2性分化疾患 3同性愛, 助産師基礎教育テキスト 2015年版第2巻女性の健康とケア, 吉沢豊予子編, PP. 218-242, 日本看護協会出版会, 東京都, 2015

28. 中塚幹也：第一章～思春期～10 同性愛, 多様な性のあり方, 女と男のディクショナリーHUMAN+, 日本産科婦人科学会編, P. 24, 日本産科婦人科学会, 神奈川県, 2014

29. 中塚幹也：第一章～思春期～11 性同一性障害, 女と男のディクショナリーHUMAN+, 日本産科婦人科学会編, P. 25, 公益社団法人日本産科婦人科学会, 神奈川県, 2014

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件) ○取得状況 (計0件)

〔その他〕ホームページ等

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

GID (性同一性障害) 学会

<http://www.gid-soc.org/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中塚幹也 (Nakatsuka Mikiya)

岡山大学大学院保健学研究科・教授

研究者番号：40273990

(2) 研究分担者

関明穂 (Seki Akiho)

岡山大学大学院保健学研究科・客員研究員

研究者番号：20314685

新井富士美 (Arai Fujimi)

岡山大学病院・医師

研究者番号：50347986